

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	医事コンピュータ 1	
<b>科目基礎情報</b>					
開設学科	医療事務科	コース名		開設期	前期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数	45時間
単位数	1単位	授業形態	実習		
教科書/教材	レセプト例題集/(株)ケイアンドコミュニケーションズ				
<b>担当教員情報</b>					
担当教員	鈴木 梨沙	実務経験の有無・職種	有・医療事務		
<b>学習目的</b>					
<p>受付や会計、医療費の計算（レセプト業務）など、診療報酬請求業務は医療機関のさまざまな場所で必要な知識である。「診療報酬」とは、カルテに書かれた診療行為を決められた点数で計算し、診療費を算定することである。昨今の医療機関ではコンピュータを使用してレセプト作成を行っており、医療事務員として病院で仕事をするうえで、必要になる知識を学ぶ。</p>					
<b>到達目標</b>					
<p>■ 外来レセプト作成が理解できる</p> <p>■ 医事コンピュータ実務検定 3 級合格</p>					
<b>教育方法等</b>					
授業概要	健康保険、国民健康保険などの説明、疾病、医療行為、処置などの説明を行い、診療情報（カルテ）から診療報酬（レセプト）を作成する演習問題、解説を繰り返し行い、コンピュータによる診療報酬（レセプト）作成方法のポイントを説明する。				
注意点	診療報酬請求事務は医療事務の仕事の基本となる。講義中は分からない部分は必ず、その授業の中で確認すること。授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。また、授業時数の4分の3以上出席しない者は試験を受験することができない。授業の進捗状態により内容が前後する場合がある。				
評価方法	<b>種別</b>	<b>割合</b>	<b>備 考</b>		
	試験・課題	100%	試験と課題を総合的に評価する		
	小テスト		授業内容の理解度を確認するために実施する		
	レポート		授業内容の理解度を確認するために実施する		
	成果発表 (口頭・実技)		授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する		
	平常点		積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
<b>授業計画（1回～15回）</b>					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	イントロダクション	医事コンピュータオペレーション説明			
2回	レセプト作成（1）演習問題	レセプト作成①（患者登録・初再診料・症例：医学管理、投薬、注射）が作成できる			
3回	レセプト作成（2）演習問題	レセプト作成②（症例：処置）が作成できる			
4回	レセプト作成（3）演習問題	レセプト作成③（症例：手術、輸血、麻酔）が作成できる			
5回	レセプト作成（4）演習問題	レセプト作成④（症例：検体検査、病理診断）が作成できる			
6回	レセプト作成（5）演習問題	レセプト作成⑤（症例：生体検査）が作成できる			
7回	レセプト作成（6）演習問題	レセプト作成⑥（症例：画像診断）が作成できる			
8回	レセプト作成（7）演習問題	レセプト作成⑦ 演習問題に合わせてレセプトが作成できる			
9回	レセプト作成（8）演習問題	レセプト作成⑧ 演習問題に合わせてレセプトが作成できる			
10回	レセプト作成（9）演習問題	レセプト作成⑨ 演習問題に合わせてレセプトが作成できる			
11回	レセプト作成（10）演習問題	レセプト作成⑩ 演習問題に合わせてレセプトが作成できる			
12回	レセプト作成（11）演習問題	レセプト作成⑪ 演習問題に合わせてレセプトが作成できる			
13回	レセプト作成（12）演習問題	レセプト作成⑫ 演習問題に合わせてレセプトが作成できる			
14回	レセプト作成（13）演習問題	レセプト作成⑬ 演習問題に合わせてレセプトが作成できる			
15回	レセプト作成（14）演習問題	レセプト作成⑭ 演習問題に合わせてレセプトが作成できる			